



イチゴ栽培における ミツバチの補完ポリネーターとしての ビーフライ(ヒロズキンバエ)の利用

日時：2017年11月16日(木)

(受付 13:00~13:25) 13:25~17:00

会場：岡山大学農学部3号館

4階多目的室 (岡山市北区津島中1-1-1)

施設栽培イチゴの受粉は、すべてがミツバチに依存しているといえるが、近年は受粉用ミツバチの生産が不安定化し、不足する事態が頻発している。また、日本海側など冬季寡日照地域においては、ミツバチの活動不良により受精不良果が1月から3月にかけて多発するため、ミツバチを補完・代替するための受粉促進技術の実用化が待たれている。(株)ジャパンマゴットカンパニーが医療用に生産しているヒロズキンバエは、園芸作物のポリネーターとして実用性を有することが明らかにされている。本セミナーでは、生研支援センターの「革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)」として実施されている、実用化に向けた研究の背景・概要とこれまでの成果について発表する。

内容 (13:25~16:40)

開会あいさつ

講演1

「ヒロズキンバエの増殖技術とマゴットセラピーによる壊疽の治療」
株式会社 ジャパンマゴットカンパニー 代表取締役 佐藤 卓也氏

講演2

「イチゴのポリネーターとしてのビーフライの受粉能力と実用性について」
岡山大学農学部 教授 吉田 裕一氏

講演3

「寡日照地域のイチゴ栽培におけるビーフライの実証試験」
島根県農業技術センター 栽培研究部 野菜科 専門研究員 金森 健一氏
～ 休憩(10分)～

講演4

「ヒロズキンバエ成虫に対する薬剤の影響について」
奈良県農業研究開発センター 野菜栽培ユニット 指導研究員 東井 君枝氏
総括研究員 西本 登志氏

講演5

「ヒロズキンバエ蛹の羽化に及ぼす直射光と温度の影響」
農研機構 西日本農業研究センター 綾部研究拠点
作物開発利用研究領域環境保全型野菜生産グループ
主任研究員 山崎 敬亮氏

総合討論

閉会あいさつ

個別相談 (16:40~17:00)

講師、CDによる競争的研究資金、共同研究、マッチング等

主催：NPO法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (中四国アグリテック)

後援：公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

<会場アクセス>

JR岡山駅西口バスターミナル22番のりばから【47】系統「岡山理科大学」行き乗車、「岡大入口」又は「岡大西門」で下車(所要時間約7~10分) ※公共交通機関を利用してお越しください。



<問合せ・申し込み先>

特定非営利活動法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (略称：NPO法人中四国アグリテック)

tel 086-237-3340 fax 086-201-0551 E-mail agri@key.ocn.ne.jp http://www.agritech2007.com/

以下の申込書をFAXしていただくか、メールにて11月8日(水)迄にお申し込みください。

※定員を超過しお断りする場合がございます。ご提出頂いた個人情報は、本セミナーに係ること以外には使用いたしません。

お名前	電話番号/FAX番号
ご所属	※個別相談 希望する ・ 希望しない